

7. 市民のための市役所 ①行政サービスの充実

部局長名	令和3年度の評価	☆☆☆☆
秘書広報局長 (船木精二)	<p>二役部長会議では、年間を通じて横断的・効率的な会議の運営を行うことができ、感染防止対策として外局職場のオンライン参加を拡大しました。</p> <p>危機管理案件等の発生時には、速やかに二役へ報告を行い、事態収束に向けた対応を行いました。</p> <p>▲</p> <p><令和3年度 実行宣言></p> <p>政策調整秘書業務の円滑な推進と危機管理における内部統制及び危機管理能力の向上に取り組めます。</p>	☆☆☆☆
	<p>令和4年度 実行宣言</p> <p>政策調整秘書業務の円滑な推進と危機管理における迅速な対応に努め、内部統制及び全庁的な危機管理能力の向上に取り組めます。</p>	
部局長名	令和3年度の評価	☆☆☆
企画振興部長 (岡本孝雄)	<p>既存概念にとらわれず各部局の取り組みについて、「誰のため」「何のため」の事業であるのか全庁的な視点で横断的な調整に努めました。</p> <p>▲</p> <p><令和3年度 実行宣言></p> <p>総合計画の進捗管理を図るとともに、施策のより効果的な推進を図ります。</p>	☆☆☆
	<p>令和4年度 実行宣言</p> <p>「人口減少対策」として、地方創生総合戦略にある「定住促進」「少子化対策」「雇用創出」「地域づくり」の分野で取り組み、効果的に事業展開できるよう中長期的な視点で部局間の連携などの調整に努めます。特に、南三重への県立大学の誘致を推進するとともに、交流人口と関係人口の増加につながる取り組みを横断的に進めます。</p>	
部局長名	令和3年度の評価	☆☆☆☆
DX推進担当理事 (近田弘之)	<p>新たなデジタルツールを導入し、関係部局との協議を進めながら技術的なサポートを行うことで、オンラインでの市民、事業所からの申請や申込手続きを取り入れ、市民の利便性を向上させるとともに、業務の効率化に努めました。今後も、申請システムの利用しやすさの工夫をしながら、オンライン申請可能な手続き等の拡大に取り組むことが必要です。</p> <p>また、職員提案制度による職員からの提案や共創デスクを通じた民間事業者等からの提案など、優れたアイデアを積極的に取り入れ、市民サービスの向上を図りました。</p> <p>▲</p> <p><令和3年度 実行宣言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・DXを推進し、業務の効率化を図るとともに市民の利便性を向上させます。 ・行財政改革推進方針に基づく改革を進め、持続可能な市政運営をめざします。 	☆☆☆☆
	<p>令和4年度 実行宣言</p> <p>オンライン申請（電子申請）の拡大や公開型GIS（地理情報システム）などの導入に取り組み、市役所へ行くことなく、スマホやパソコンからさまざまな申請や手続きが簡単にできる環境の構築を進めます。</p> <p>また、本庁・地域振興局・出張所等の業務機能の見直しやデジタル技術・民間活力の活用などを通じた業務の効率化等に取り組み、職員がより専門性が求められる業務に専念できる配置や体制整備を進め、市民サービスの向上に繋がります。</p>	

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

部局長名	令和3年度の評価	☆☆☆
地域振興担当 理事 (野呂隆生)	防災対策や窓口対応などの市民の安全や市民サービスの向上のため、地域振興局間で連携や情報共有を図る会議を月1回開催して情報共有を行い、書かない窓口や防災対策を円滑に実施することができました。	
	▲ <令和3年度 実行宣言> ・住民自治協議会の運営や活動を支援し、地域づくりを推進するとともに、コミュニティセンター化の方向性を定めます。 ・地域資源を活用した取り組みを推進し、積極的な情報発信に努め、地域の活性化を図ります。 ・空家バンクへの登録を推進し、若い世代を中心に中山間地域への移住を促進します。	
	令和4年度 実行宣言 地域振興局及び出張所の業務やあり方に関する課題について関係部局とともに検討し、現在の市民サービスを維持し、住民福祉の向上など、地域や行政の新たな課題に対応できる組織や業務のあり方について方向性を定めます。	
部局長名	令和3年度の評価	☆☆☆
総務部長 (近田雄一)	条例、規則等の改正に係る相談、助言、指導の要請に応え、適正な法令事務に努めました。職員提案制度に基づき「コンプライアンス・ハンドブック」の作成、業務マニュアルの見直しを指示しました。市庁舎1階ロビーにデジタルサイネージの設置、職員提案による公用車運転用のポータブルナビの貸出、トイレの案内板の改善等を行い、使いやすい市役所の実現に努めました。	
	▲ <令和3年度 実行宣言> ・情報公開を進めると共に、法令に基づく行政運営を推進します！ ・財政調整基金を大きく取り崩すことなく財政運営の健全性を保つとともに、庁舎機能の充実に努めます！ ・障がい者雇用の拡大、意欲のある職員の確保と職員力の向上を図ります！	
	令和4年度 実行宣言 社会情勢や多様化する市民ニーズに対応できる環境づくりに努めます。	
部局長名	令和3年度の評価	☆☆☆
環境生活部長 (田畑吉隆)	マイナンバーカード交付率はカードセンターの設置、図書カードの配布やキッズマイナンバー教室の開催などを通じ、取得率の低い年代層に働きかけることにより年度末において49.7%となり目標を達成することができました。また、証明書コンビニ交付については動画広報を通じ、マイナンバーカード利用に伴う利便性をアピールし、利用率向上を図りました。	
	▲ <令和3年度 実行宣言> マイナンバーカードの普及促進と証明書コンビニ交付の利用率の向上を図ります。	
	令和4年度 実行宣言 ・マイナンバーカードセンターでのカード交付枚数を令和3年度と比較して3倍を目指します。 ・マイナンバーカードの申請率向上に向けた出張申請受付を積極的に行い普及促進を図ります。	
部局長名	令和3年度の評価	☆☆☆
建設部長 (伊藤篤)	コロナ禍の影響により資材調達が遅れ工程管理に苦慮しましたが、津波避難タワー、松阪市立嬉野中学校、はにわ館空調設備など、繰越事業も含めると工事67件、委託業務21件、総事業費約35億9千3百万円の事業を安全且つ適正に実施しました。	
	▲ <令和3年度 実行宣言> 事故の無い安全安心な営繕工事を実施します。	
	令和4年度 実行宣言 引き続き、事業執行に当たっては、スケジュール調整や施工状況の情報共有など所管課との連携を密にし、安全且つ適正な工事監理により工期内の完了に努めます。	

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

施策の進捗状況							
数値目標 ① 【評価】 環境生活 部長	指標名	マイナンバーカード交付率				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	25.0 %	44.0 %	47.0 %	50.0 %	
	実績	20.8 %	35.8 %	49.7 %	—	—	
	評価	—	S	S	—	—	
今後の方針	各種手続きがワンストップで行えるようマイナンバーカードセンターを拡張し、カード交付率向上を図っていきます。						
数値目標 ② 【評価】 DX推進 担当理事	指標名	電子申請できる手続きの種類				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	20 種類	20 種類	20 種類	20 種類	
	実績	9 種類	10 種類	28 種類	—	—	
	評価	—	E	S	—	—	
今後の方針	オンライン申請の充実を図るため、マイナポータルに子育て及び介護ワンストップサービスの登録を行うなど、オンライン申請の利用が多く見込まれる申請メニューの拡大に取り組みます。						
数値目標 ③ 【評価】 DX推進 担当理事	指標名	職員提案制度により部局の検討に至った提案（累計）				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	5 提案	10 提案	15 提案	20 提案	
	実績	—	10 提案	15 提案	—	—	
	評価	—	S	S	—	—	
今後の方針	職員のやる気を引き出し、積極的に多様なアイデアが提案されるような環境の醸成に努め、優れた提案が市政運営に一つでも多く活かされるよう取り組みを進めます。						
関係所属							
秘書課・経営企画課・情報システム課・市政改革課・嬉野地域振興局・三雲地域振興局・飯南地域振興局・飯高地域振興局・総務課・財務課・職員課・戸籍住民課・営繕課							

7. 市民のための市役所 ②確かな行政サービスの提供

部局長名	令和3年度の評価	☆☆☆
企画振興部長 (岡本孝雄)	「行財政改革推進方針2021」に則り全ての課で行財政改革の取り組みを進めるとともにDXとの連携を推進し、PDCAサイクルによる効率的で効果的な行財政運営に努めました。また、総合計画等評価委員会を設置し施策評価等の進捗管理を行いました。	
	↑	
	<令和3年度 実行宣言> 総合計画の進捗管理を図るとともに、施策のより効果的な推進を図ります。	
	令和4年度 実行宣言 総合計画等評価委員会の評価に対して、改善が必要なものについては、実施計画や当初予算に迅速に反映するよう全市的な調整を図ります。また、財源の確保のため企業版ふるさと納税の推進を図ります。	

部局長名	令和3年度の評価	☆☆☆
DX推進担当理事 (近田弘之)	庁内ネットワークを適正に管理運営し、各種システムをセキュリティ対策を施しつつ安定稼働させ、住民サービスを提供し利便性を担保することができました。	
	↑	
	<令和3年度 実行宣言> DXを推進し、業務の効率化を図るとともに市民の利便性を向上させます。	
	令和4年度 実行宣言 庁内ネットワークおよび各種システムを安全に安定稼働させ、遅滞なく住民サービスを提供します。	

部局長名	令和3年度の評価	☆☆☆
総務部長 (近田雄一)	これからの行政サービス向上に必要な学芸員、社会福祉士、システムエンジニアといった専門職の採用を行いました。障がい者雇用は、会計年度任用職員を12名任用し法定雇用率の引き上げに努めました。職員研修事業は、WEBを活用した研修を実施しました。入札制度では人的なミスが発生しましたが、入札事務の改善に努め、同様なミスが発生しないようにしました。	
	↑	
	<令和3年度 実行宣言> ・障がい者雇用の拡大、意欲のある職員の確保と職員力の向上を図ります！ ・適正な入札・契約業務を推進していきます！	
	令和4年度 実行宣言 障がい者雇用率の引き上げ、職員一人ひとりが仕事への意欲・能力を向上させ、行政課題を解決する人材確保と育成に努めます。	

施策の進捗状況							
数値目標	指標名	仕事に創意工夫を凝らし、業務の改善や新しい仕事の進め方に積極的に取り組んでい る職員の割合				目標種別	→
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
① 【評価】 総務部長	目標	—	60%以上	60%以上	60%以上	60%以上	
	実績	61.5%	60.8%	61.4%	—	—	
	評価	—	S	S	—	—	
	今後の方針	引き続き、業務改善等に取り組む職員の割合を増やしていきます。					
数値目標	項目	庁内ネットワークおよびシステムの稼働停止率				目標種別	→
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
② 【評価】 DX推進 担当理事	目標	—	0.1%以下	0.1%以下	0.1%以下	0.1%以下	
	実績	0.01%	0.01%	0.01%	—	—	
	評価	—	S	S	—	—	
	今後の方針	本庁舎・各地域振興局及び外局施設の間で各業務に係る情報をつなぐネットワークを適正に管理運営し、各種システムを安全かつ安定に稼働させます。					

関係所属	
経営企画課・情報システム課・職員課・契約監理課	

7. 市民のための市役所 ③ 公民連携の推進

部局長名	令和3年度の評価	☆☆☆☆
DX推進担当理事 (近田弘之)	共創デスクを通じた民間事業者からの提案について、5提案を連携協力として、具体的化することができました。 また、指定管理者公募時などにおけるサウンディング型市場調査の実施を通じて、公共施設の今後の在り方に関する民間事業者の考え方やアイデア等を今後の事業スキーム構築に取り入れることができました。	
	↑ <令和3年度 実行宣言>	
	行財政改革推進方針に基づく改革を進め、持続可能な市政運営をめざします。	
	令和4年度 実行宣言	
共創デスクやサウンディング型市場調査等を通じて、市政運営に積極的な民間手法の導入を進め、業務の効率化や事業効果のさらなる向上に努めます。また、SIB（ソーシャル・インパクト・ボンド）を用いた公民連携による社会課題解決のための手法について検討を行っていきます。		

施策の進捗状況							
数値目標 ① 【評価】 DX推進 担当理事	指標名	指定管理者公募時などにおけるサウンディング型市場調査の実施数				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	2 件	5 件	7 件	10 件	
	実績	—	4 件	6 件	—	—	
	評価	—	S	S	—	—	
今後の方針	公共施設の管理運営や未利用市有地の活用などにおいて、事業検討の段階でサウンディング型市場調査を実施し、市場の動向や事業の実現可能性、活用に向けたアイデアなどの把握に努め、より良い事業の実施に繋がります。						
数値目標 ② 【評価】 DX推進 担当理事	指標名	共創デスクによる公民連携の取組数（累計）				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	2 件	4 件	6 件	8 件	
	実績	—	13 件	18 件	—	—	
	評価	—	S	S	—	—	
今後の方針	共創デスクのPRに努めるとともに、課題設定型の提案募集などについても検討を行い、より提案してもらいやすい環境づくりに取り組み、民間団体・民間事業者等と行政が適切な役割分担や協力関係を構築し、公共課題の解決や市民サービスの充実に繋がります。						

関係所属	
市政改革課	

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

7. 市民のための市役所 ④市民との情報共有

部局長名	令和3年度の評価	☆☆☆
秘書広報局長 (船木精二)	さまざまな広報媒体を活用して、市民にわかりやすく、スピード感をもった適切な情報提供を行いました。特に、ホームページの新型コロナウイルス感染症特設サイトの項目を見やすくしました。しかし、コロナ禍の影響で各種イベント・出前講座等、一部の事業では目標を達成することができませんでした。	
	 <令和3年度 実行宣言> 市民にわかりやすく、スピード感をもった適切な情報提供を行います。	
	令和4年度 実行宣言	
	より見やすく、探しやすいホームページを目指してリニューアルを行い、市内外に広く適切な情報発信を行います。	

部局長名	令和3年度の評価	☆☆☆
総務部長 (近田雄一)	審議会などの会議の公開率91.4%、公文書公開440件、個人情報公開33件の請求があり、原則に則って公開しました。また、情報公開並びに個人情報保護に関する研修会を開催し、市民満足度の向上に努めました。	
	 <令和3年度 実行宣言> 情報公開を進めると共に、法令に基づく行政運営を推進します！	
	令和4年度 実行宣言	
	情報公開を進めるとともに改正個人情報保護法の施行に備え、個人情報保護施行条例を整備します。また、情報提供範囲の拡大を検討します。	

施策の進捗状況							
数値目標 ① 【評価】 総務部長	項目	情報公開・情報提供に対する市民満足度				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	2.96 /5	3.00 /5	3.05 /5	3.10 /5	
	実績	2.96 /5	— /5	2.93 /5	—	—	
	評価	—	—	E	—	—	
今後の方針	情報公開制度の主旨に基づいた適正執行と並行して、情報提供範囲の拡大への取り組みによって市民満足度の向上を目指します。						
数値目標 ② 【評価】 秘書広報局長	項目	市ホームページにおける月平均閲覧数				目標種別	→
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	200,000件	200,000件	200,000件	200,000件	
	実績	181,892件	312,413件	340,826件	—	—	
	評価	—	S	S	—	—	
今後の方針	誰もがより探しやすい、見やすいホームページを目指してリニューアルを行い、情報発信します。						
数値目標 ③ 【評価】 秘書広報局長	項目	総合アプリ(松阪ナビ)のダウンロード件数				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	2,000 DL	4,000 DL	6,000 DL	8,000 DL	
	実績	1,496 DL	11,688 DL	20,055 DL	—	—	
	評価	—	S	S	—	—	
今後の方針	目標件数には達していますが、引き続き内容を充実させながら、より多くの方の利用を推進します。						
数値目標 ④ 【評価】 総務部長	指標名	審議会などの会議公開率(公開及び一部公開/全体)				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	90.5 %	91.0 %	91.5 %	92.0 %	
	実績	90.0 %	91.8 %	91.4 %	—	—	
	評価	—	S	S	—	—	
今後の方針	審議会等の会議及びその議事録について、適時性のある情報を提供するとともに、非公開とする会議・議事録が増加しないように注意する。						

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ⑤ 【評価】 秘書広報 局長	指標名	SNS（Instagram、Twitter等）の総フォロワー数				目標種別	↑
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	7,000 件	8,000 件	9,000 件	10,000 件	
	実績	5,380 件	8,306 件	9,696 件	—	—	
	評価	—	S	S	—	—	
今後の方針	松阪市の公式SNSのフォロワー数を増加させるために、さまざまな情報発信に努めていきます。						
関係所属							
広報広聴課・総務課							

7. 市民のための市役所 ⑤健全な財政運営

部局長名	令和3年度の評価	☆☆☆
DX推進担当理事 (近田弘之)	<p>公共施設の用途廃止や売却などに関して関係部局等と横断的な検討を行うとともに、各施設所管課をサポートし、宿泊施設スモールやグループホームいいたかなどの運営方法の見直し等を実現しました。</p> <p>また、松阪市公共施設等総合管理計画の改訂を行い、延べ床面積の削減を指標とする目標からライフサイクルコストを指標とする目標へと見直しを行いました。今後は、公共施設の統廃合によるコスト削減だけではなく、業務見直しや民間活力の活用など幅広い視点からさらなる取り組みを進める必要があります。</p>	
	<p>↑</p> <p><令和3年度 実行宣言></p> <p>行財政改革推進方針に基づく改革を進め、持続可能な市政運営をめざします。</p>	
	令和4年度 実行宣言	
	<p>施設の統廃合、指定管理者制度など民間活力の積極的な導入等に取り組み、市民の利便性の維持・向上を図りつつライフサイクルコストの削減を進めていきます。</p>	

部局長名	令和3年度の評価	☆☆☆
総務部長 (近田雄一)	<p>令和2年度に引き続き、施策評価システムの施策達成度を市民意識調査結果とともに再検証し、予算への反映を行うとともに、決算ベースの要求基準による当初予算編成を実施しました。</p>	
	<p>↑</p> <p><令和3年度 実行宣言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報公開を進めると共に、法令に基づく行政運営を推進します！ ・財政調整基金を大きく取り崩すことなく財政運営の健全性を保つとともに、庁舎機能の充実に努めます！ 	
	令和4年度 実行宣言	
	<p>適正な予算編成・執行管理を行い、健全な財政運営に努めます。</p>	

部局長名	令和3年度の評価	☆☆☆
税務担当理事 (松下敏幸)	<p>新型コロナウイルス感染症による経済への影響から、市税等の財源確保が心配されましたが、適正な課税と徴収強化に努めたことにより、市税等現年度分収納率目標値を概ね達成する見込みです。</p>	
	<p>↑</p> <p><令和3年度 実行宣言></p> <p>市税等の自主財源の安定確保に努めます！</p>	
	令和4年度 実行宣言	
	<p>引き続き安定的な財政運営のための自主財源確保に努めます。</p>	

部局長名	令和3年度の評価	☆☆☆☆
競輪事業担当理事 (松本健)	<p>令和3年度の一般財源への繰入額は、2億6千万円で包括業務委託開始後最高額の更新となりました。また、令和3年度は通常日程に2回開催（計6日間）を追加開催したこともあり、総売上額は約223億円で、2年連続200億円を超えることができました。この要因は、コロナ禍での外出控えに伴う消費需要の影響もありますが、モーニングからミッドナイトまですべての時間帯で競輪を開催したことによるものと考えます。</p>	
	<p>↑</p> <p><令和3年度 実行宣言></p> <p>市の自主財源を確保します！安定的な経営に努め、一般財源への繰り入れを強化します。</p>	
	令和4年度 実行宣言	
	<p>収益の増加・安定的な経営に努め、一般財源への繰り入れを強化するため、引き続きモーニングからミッドナイトまで競輪開催をするとともに、全国のネットユーザーに向けSNSを活用したタイムリーな情報発信を充実させ、視聴者プレゼント等注目度の高い企画を実施します。</p>	

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	市税の現年度課税分の収納率				目標種別	↑
		年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
【評価】	目標		—	98.60 %	98.60 %	98.70 %	98.90 %
	実績		98.53 %	98.53 %	98.96 %	—	—
税務担当理事	今後の方針		—	E	S	—	—
			適正な課税と徴収強化及び納税環境の整備を継続的に進め、安定的な財政運営のための自主財源確保に努めます。				

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ② 【評価】 DX推進 担当理事	指標名	公共施設トータルコスト削減目標に対する達成率				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	2.5 %	5.0 %	7.5 %	10.0 %	
	実績	—	1.0 %	1.8 %	—	—	
	評価	—	D	D	—	—	
今後の方針	公共施設の統廃合によるコスト削減だけでなく、計画的な長寿命化対策を通じた修繕費や更新にかかるコストの抑制、当該施設で行われている業務の見直しや新たな民間活力の積極的な活用など、様々な視点から施設の管理運営の効率化に取り組んでいきます。						
数値目標 ③ 【評価】 総務部長	指標名	市債残高（一般会計）※臨時財政対策債を除く				目標種別	→
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	281億円以下	281億円以下	281億円以下	281億円以下	
	実績	281億円	237億円	248億円	—	—	
	評価	—	S	S	—	—	
今後の方針	臨時財政対策債を除く市債残高が281億円を超えないようにしていきます。						
関係所属							
市政改革課・総務課・財務課・市民税課・資産税課・収納課・債権回収対策課・競輪事業課							